

指定管理者のモニタリングシート

1. 基本情報

確認年月日: 令和6年11月14日

施設名	中野地区活動センター		
住所	盛岡市東安庭字小森57番地1		
指定管理者名	社会福祉法人 盛岡市社会福祉事業団	所管課名	市民協働推進課
指定管理料(年額)	10,003,878		
今回確認期間	令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 6 年 10 月 31 日 まで (7 ヶ月間)		

2. 業務の履行状況の確認について

(1)稼働実績

項目		今期計画	今期実績
開館日数		361	214
延べ利用者数	団体数	2,064	1,288
	利用者数	23,322	14,531
主要事業開催回数	自主事業(共催事業含む)開催数	4	2

(2)管理運営実績

項目		確認欄
設置目的	施設の設置目的及び市の施策の成果向上に果たす施設の役割を理解し、これらに沿った管理運営がなされているか。	適・要改善
平等利用	市民・利用者の平等な利用が確保されているか(一部の市民・利用者に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることが行われていないか。)	適・要改善
質	施設管理	
	建物・外構の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適・要改善
	設備の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適・要改善
	建物、外構、設備の修繕の履歴は整理、保管されているか。	適・要改善
	現金・備品等の管理	
	現金は適正に管理されているか。	適・要改善
	鍵は適正に管理されているか。	適・要改善
	施設に配置されている備品が適正に記録・管理されているか。	適・要改善
	備品の購入、廃棄、修繕の記録について整理、保管されているか。	適・要改善
	事業実施	
	仕様書及び事業計画書で実施することとしている事業が実施されているか。	適・要改善
	危機管理	
管理能力	危機対応の手順は整備されているか。	適・要改善
	適正な人数の職員が配置されているか。	適・要改善
	職員の資質向上のための研修等の取組みが実施されているか。	適・要改善
	適正な労働条件が確保されているか。	適・要改善

(2)管理運営実績(続き)

項目		確認欄
個人情報情報	施設で取り扱う個人情報、特記仕様書に基づき扱われているか。	適・要改善
その他	市と指定管理者の間で指定管理業務について記録することとしている事項について、記録が整備されているか。	適・要改善
	あらかじめ市に協議すべき事項について、適時に協議がされているか。	適・要改善
	市と指定管理者の間で指定管理業務について報告することとされている事項について、適時に報告がなされているか。	適・要改善

3. サービスの質の確認について

(1)サービス提供の状況

項目		確認欄
職員対応	職員の身だしなみは適切か	適・要改善
	利用者への対応のマナーは適切か	適・要改善
	利用者に対する職員の案内、説明は分かりやすく丁寧に行われているか。	適・要改善
施設管理	施設は清潔に保たれているか。	適・要改善
	施設内の案内が利用者にわかりやすく表示されているか。	適・要改善
	施設は利用者が利用目的に沿って安全に使用できる状態になっているか。	適・要改善
要望情報	利用者からの苦情・要望に対し、適切な対応がなされているか	適・要改善
	利用者からの苦情・要望について、市への連絡報告が適切に行われているか	適・要改善
利用促進	事業実施の周知が適切になされているか。	適・要改善
	使用許可手続きは円滑に行われているか	適・要改善
	ホームページは「公の施設の指定管理者のインターネット利用指針」に沿って作成されているか。	適・要改善

4. 指定管理者が施設の管理運営及びサービスの質を向上させるために工夫した事項

中野地区活動センターは、中野地区振興協議会(中野地区主要10団体で構成)と中野地区町内会連合会(中野地区17町内会)の事務局を務めております。中野地区振興協議会を中心に各種団体、町内会・自治会、各学校、駐在所等、それぞれの持っている情報を交換を密に行い、互いに共有し地域に密着した事業を展開しております。中野地区にある文化として「伝統さんさ踊り」を広く周知するために、中野小学校の授業で指導したり、中野地区民体育祭で披露して、親しみを持ってもらうよう努力しています。また、活動センターを利用しているサークルを紹介したり、サークル活動の参加希望者には手助けをしたり、利用者増に努めています。年に1回中野活動センターに於いて、中野地区にお住まいの方々を対象に中野地区民文化祭を開催し、作品等を展示してそれらを鑑賞に来る人々とお互いのふれあいを大事にしよう取り組んでいます。
--

5. モニタリング結果を踏まえた今後の管理運営の方向性

指定管理者	所管課
現在はインフルエンザが全国的に猛威をふるっていますが、当初のインフルエンザより変異している為か大変な日々を過ごしています。こうした状況でもセンターは不特定多数の方々が利用しますので利用者の方々が「喜びと希望と幸せ」を感じられるよう「安心・安全な施設運営」を心掛けて行きたいと思っています	中野地区振興協議会と連携した行事の企画など地域に根ざした施設として定着しているとともに、利用者の意見を積極的に取り入れようとする姿勢により利用環境の改善に努めている。今年度はインフルエンザの大流行により、施設運営においては難しい面も多かったが、工夫して可能な限り自主事業を開催するなど、柔軟に対応していただいた。今後も住民の集会やレクリエーションなどコミュニティ活動の拠点としての役割を担っていただきたい。